

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年6月19日発行)

## 1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。\*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週			
	21週 5月18日～5月24日	22週 5月25日～5月31日	23週 6月1日～6月7日	24週 6月8日～6月14日
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	512 102.40	490 98.00	437 87.40	400 80.00
	3 0.60	2 0.40		
	15 3.00	3 0.60	1 0.20	1 0.20
小児科定点	RSウイルス感染症*		1 0.33	
	咽頭結膜熱*	3 1.00	2 0.67	2 0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	8 2.67	8 2.67	10 3.33
	感染性胃腸炎	8 2.67	6 2.00	6 2.00
	水痘			3 1.00
	手足口病	3 1.00	4 1.33	
	伝染性紅斑			
	突発性発しん		1 0.33	2 0.67
	ヘルパンギーナ*		1 0.33	2 0.67
	流行性耳下腺炎			
眼科定点	急性出血性結膜炎			
	流行性角結膜炎	4 4.00		1 1.00
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			
	マイコプラズマ肺炎			
	無菌性髄膜炎			1 1.00
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	1
	川崎病	1		3
	不明発疹症		1	1

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

## 2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

## 3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

### 【全数報告疾病】※栗原支所管内

- なし

### 【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 県内では、咽頭結膜熱が増加傾向にあり、急性呼吸器感染症患者検体からもアデノウイルスが検出されています。例年、夏に流行時期を迎えることから、手洗いなど基本的な感染対策を徹底しましょう。
- また、県全体で梅毒の第24週までの患者報告数が101名と昨年同時期の報告数を上回っています。梅毒は梅毒トレポネマによる感染症で、感染経路の多くは性的接触によるものです。生殖器にしこりやただれ等の症状が出るほか、妊婦の場合は流産等の恐れもあるので感染が疑われる場合には早期に医師の診断、治療を受けてください。

### 【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たな集団発生の報告はありません。

- 保健所では、手洗いチェッカーの貸出を行っています。
- 施設の感染対策として活用ください。



手洗いチェッカー

### 【感染症コラム～咽頭結膜熱～】

- アデノウイルスが原因の小児の急性ウイルス性感染症であり、主に夏期に流行します。
- 発熱、頭痛、食欲低下、だるさとともに、のどの痛み、結膜炎(結膜充血、眼痛、羞明、流涙、眼脂)が現れ、3～5日間程度持続します。かつてはプール利用時の接触やタオルの貸し借り等で流行することがあったため、俗称として「プール熱」と呼ばれていました。
- 主な感染経路は、飛沫・接触感染で、結膜や上気道から感染します。プールを介した場合、汚染した水から結膜へ直接感染すると考えられています。
- 流行時は、うがいや流水・石鹼による手洗いをを行い、予防に努めましょう。一般的な消毒用エタノールの消毒効果は弱いため、環境や物品の消毒には次亜塩素酸ナトリウムの使用や、煮沸消毒をお勧めします。

### 【お知らせ】

- 国内で麻しん(はしか)が流行しています。
- 麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力が非常に強く、同じ空間にいただけで感染することもあります。
- 予防にはワクチン接種が有効です。2回接種していない方は、接種を検討してください。



大崎保健所 栗原支所 疾病対策班  
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594